

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 5 - 8
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 興部高校間口確保対策事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 10. 教育費 項 1. 教育総務費 目 3. 教育振興費

担 当 課 教育委員会管理課 担 当 係 名 総務学校係 調書作成者職氏名 係長 堺井敏明

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 128

分 類	コード	名 称
基本目標	4	知識を高める“まちづくり”
施策項目	20	幼児教育・学校教育の充実
単位施策	10	高等学校との連携・支援

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ・西紋地区教育文化振興会（振興会を通して興部高校生徒及び保護者に対して補助） ・興部高校間口確保対策協議会
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・興部高校生徒に対し、①入学支援金及び通学費補助による経済的支援、②衛星放送を利用した講習受講料を補助、③部活動に対する補助、④各種資格・検定試験受験料の一部補助などを行う。 ・学校案内及び広報紙を作成・配布し、興部高校の魅力を多方面に発信する。
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ・町内はもちろん、近隣市町村からの入学者を確保（20名以上）することで、興部高校の存続を図る。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	成果指標	興部高校入学者	目標値 実績値	名		35	27	29	14
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	9,256	11,248	9,739	8,646	6,497	8,250	44,380
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債						6,000	6,000
その他							0
一般財源	9,256	11,248	9,739	8,646	6,497	2,250	38,380

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 高校存続（生徒確保）を図るために取り組む重点事業である。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 生徒及び保護者に対する経済的支援により、町外からの入学者もある。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 経済的支援だけでは生徒確保が難しい現状であるため、その他施策についての検討も必要である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 代替不可
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☒ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 各種支援策により町外からの入学者を含めて一定（20名以上）の生徒が確保されているが、地元からの入学者が少なく、今後の課題である。

特記事項

・ 平成21年度から紋別高校をセンター校とする地域キャンパス校となる。

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	現状では事業の継続が妥当であるが、支援策を含めて新たな対策も必要である。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	一次評価のとおり、現状では事業の継続が妥当であるが、支援策を含めて新たな対策も必要である。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

	子供の人数が少なく補助の効果が上がらない。好きな部活動が出来ない、生徒が少ないから行かないという悪循環になっている。経済的な理由で高校に行かせられない家庭は無い、時代の変化により他の高校を選ぶことは仕方がない。興部高校が無くなることだけは避けるべき。
--	---

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	新たな対策が必要であるかについては今後も検討して行く。

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの